

高齢者が住みやすい
まちづくりについて



伊賀 純 議員



質問…社協の見守り事業として、高齢者に月3回約80食の配食サービスを39年間、ボランティアで届ける団体があります。文化会館の閉鎖に伴い、昨年9月より調理場所をトコトコの親子ふれあいキッチンを借り高齢者の見守り、食の支えを続けています。親子ふれあいキッチンの使用条件を幅広く、市民が利用しやすい、使い勝手のよい環境

を整えられないか伺います。
答弁…子育て世代を支援するための施設で、開放は難しいと考えています。
質問…令和5年の親子ふれあいキッチンの使用が、31件と年間1割にも満たない使用率と聞きますが、間違いはないか伺います。
答弁…1割程度の稼働率になると思います。
質問…大田原の姿勢として、子

育て事業も食育も大切ですが、高齢者を支える人達の支援を両にらみで考えていかないと、うまく回っていかない気がします。持込み、お鍋の準備まで幅を広げて頂けるかも一度伺います。
答弁…親子ふれあいキッチンの設置目的を尊重しながら、ボランティアがどう使い勝手がよくなるか、まちづくりカンパニーと話をしたいと思います。

一般質問



滝田 一郎 議員



障がい者、妊産婦等のおもいやり駐車スペースの確保について

質問…本市における栃木県おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業（パーキングパーミット制度）の利用証発行等の実施状況について伺います。
答弁…令和5年度の利用証交付状況は、身体障害者が117名、知的障害者が4名、精神障害者が6名、要介護者が56名、難病患者が12名、妊産婦が144名、傷病人が30名、合計369名です。

質問…市有施設のおもいやり駐車スペースの設置状況について伺います。
答弁…市有施設271施設のうち、障害者等用駐車スペースは、庁舎などの61施設に有り、区画線がある駐車スペースが約4800台ほどあり、そのうち150区画が障害者等用駐車スペースです。
質問…ハーモニーホールのおも

いやり駐車スペースを増設できないか伺います。
答弁…市としては増設する必要があると捉え、2.5メートル幅を3.5メートル幅に広げた上で、さらに3.5メートル幅の駐車スペースをもう1台分、計3台分に増設する方向で那須塩原市と協議を行った上で対応します。